

# 令和3年度 第三部会技術分科会 活動報告（概要）

令和4年7月  
一般社団法人 日本消火装置工業会

## 1. 技術分科会

### (1) 委員構成

15社16名（部会長、主査、副主査を含む）

### (2) 開催回数

定例会（原則1回/月）10回（メール会議を含む）

## 2. 審議・確認事項

### (1) ハロンの適切な管理のための自主行動計画フォローアップ報告書作成（R3.8～R3.11）

工業会において策定した「ハロンの適切な管理のための自主行動計画」に基づき、「自主行動計画フォローアップ委員会」を設け、取組みの実施状況についてフォローアップを実施し報告書を作成した。

### (2) 異なるメーカーの容器弁交換について（R2.7～R3.11）

容器弁の安全性点検や設備のリニューアルによってガス消火設備の一部機器を交換した際、着工届や設置届が必要となるケースがある。また異なるメーカーの機器を組み合わせた状態となった場合に、認定に合致しなくなる、正常に作動しないおそれがある等、問題が発生することがある。そこで、それらに対する注意喚起を目的としたリーフレットを作成し、令和3年11月に工業会ホームページに公開した。

### (3) 二酸化炭素消火設備放出事故に係る安全対策について（R2.12～継続中）

令和2年12月に愛知県名古屋市、令和3年1月に東京都港区、4月に東京都新宿区と、二酸化炭素消火設備の放出事故が連続したことを受け、二酸化炭素消火設備の代替設備、安全対策の遡及、点検の向上、設備の更新の促進策等について検討を行っている。

令和3年度は、二酸化炭素消火設備の点検実施者を対象として当工業会のホームページに掲載されている「二酸化炭素消火設備の点検における安全のための厳守事項について」の内容の見直しを実施した。改訂版については、令和4年6月にホームページに掲載した。

### (4) 閉止弁の基準（案）の検討について（R3.10～継続中）

後述する特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会にて、二酸化炭素消火設備放出事故の再発防止のためには閉止弁の設置が重要との意見に基づき、閉止弁の基準（案）の検討を行った。

## 3. 外部委員会等

### (1) ハロンの適切な管理のための自主行動計画評価委員会（R3.11）

「ハロンの適切な管理のための自主行動計画」の実施状況について第三者機関である「ハロンの適切な管理のための自主行動計画評価委員会」による評価を受けた。評価結果は、「ハロンの適切な管理のための自主行動計画 令和3年度フォローアップ評価報告書」により示された。

### (2) 特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会（R1.7～継続中）

令和元年から開催されている特殊消火設備の設置基準等に係る検討部会は、令和3年度は二酸化炭素消火設備の安全対策を議題として計4回開催された。工業会からは委員を派遣し、二酸化炭素消火設備の危険性、設置状況、安全対策等の議論に参加した。

当分科会においては、検討部会に設置された二酸化炭素消火設備ワーキンググループに参画し、

二酸化炭素消火設備のリスクアセスメント、事故・ヒヤリハット事例の収集、機器の仕様及び海外基準の調査等に協力した。

検討部会では、1年間にわたる調査及び審議の結果を取りまとめ、令和4年3月に「二酸化炭素消火設備に係る事故の再発防止策に関する検討結果報告書」が発行された。

**(3) 令和3年度中部支部業務運営懇談会 (R3.9)**

工業会の中支部が開催する懇談会への派遣依頼があったが、工業会で審議した結果、昨年同様に担当者は派遣せず資料提出となったため、当分科会の活動内容を取りまとめて報告した。

**(4) 日本火災学会の火災科学セミナーへの講師派遣について (R3.10)**

日本火災学会が行う火災科学セミナーにおいて、二酸化炭素消火設備の消火効果と安全対策についての講師派遣依頼があり、当分科会から派遣した。

**(5) 京都市消防局研修会への講師派遣について (R3.10)**

京都市消防局が開催する消防用設備等技術研修会において、二酸化炭素消火設備の概要と安全対策についての講師派遣依頼があり、当分科会から派遣した。

**(6) 都道府県消防設備協会点検推進指導員研修会の講師派遣について (R3.12)**

(一財)日本消防設備安全センターが開催する点検推進指導員研修会において、二酸化炭素消火設備の点検に際しての留意事項についての講師派遣依頼があり、当分科会から派遣した。

**4. その他**

**(1) 設計・工事基準書改訂WG3 (粉末消火設備設計・工事基準書) (~R4.3)**

- ・委員構成 (7社7名)
- ・最新の法規への対応や他の基準書との整合を図るため、改訂編集WG3を立ち上げ、基本的に月1回のWGを開催して粉末消火設備設計・工事基準書の改訂作業を行い、改訂を完了した。令和4年4月に改訂版を発行した。

以 上